

令和5年度学校評価アンケート調査 集計分析結果

令和5年2月19日(月)第4回学校運営協議会資料、2月13日(火)定例職員会議資料

今年度も、学校評価アンケートにご協力をいただき、ありがとうございました。

本校が学校経営の重点としている4つの目標について、達成状況をまとめましたので、ご報告いたします。また、各項目毎の詳しい内容につきましても掲載いたしますので、ご覧ください。

皆様から頂戴した意見につきましては、真摯に受け止め、職員会議の中で共有し、今後の改善につなげてまいります。

令和5年度 学校経営の重点

【重点目標1】授業の最適化の追求

達成指標	評価項目及び実績等	達成状況
学校評価において、授業が分かりやすい・適切な学習内容となっていると答えた生徒・保護者の割合【80%以上】	・分かりやすく勉強を教えてくれると感じている生徒の割合【98.0%】 ・学校の授業は適切な学習内容となっていると感じている保護者の割合【97.5%】	○

【重点目標2】進路指導の充実

達成指標	評価項目及び実績等	達成状況
学校評価において、進路の相談や情報提供が十分であると答えた生徒・保護者の割合【80%以上】	・進路実現に向けて相談にのってくれていると感じる生徒の割合【100.0%】 ・進路について十分な情報を提供していると感じる保護者の割合【96.0%】	○

【重点目標3】連携と協働の強化

達成指標	評価項目及び実績等	達成状況
学校評価において、特別支援のセンターとして地域と連携していると感じる教職員・関係機関の割合【90%以上】	・特別支援教育のセンターとしての役割を果たしていると感じる教職員の割合【96.4%】 ・関係機関との連携を密に行っていると感じる関係機関の割合【96.3%】	○

【重点目標4】安全・安心な環境づくり

達成指標	評価項目及び実績等	達成状況
学校評価において、安全な教育環境を整えていると感じる生徒・保護者の割合【90%以上】	・学校は安全で過ごしやすと感じる生徒の割合【96.9%】 ・学校は安全な教育環境を整えていると感じる保護者の割合【96.1%】	○

3 項目別分析①

(1) 「学校経営全般」について

【教職員】 A:よくできている,B:おおむねできている,C:あまりできていない,D:できていない,E:わからない(評価できない)		今年度(A+B)	今年度回答数 (A+B)/(A+B+C+D)	前年度(A+B)	比較
◎	01 学校は、教育目標・経営方針を適切に設定し、達成できるように実践している。	◎ 100.0%	117 / 117	98.3%	1.7%
○ ◎	02 教職員は、意思疎通を図りながら、働きやすい職場環境の整備に努めている。	○ 95.7%	111 / 116	85.5%	◎ 10.2%
◎	03 学校は、学校の取組や幼児児童生徒の様子について、保護者に適切に情報提供をしている。	◎ 100.0%	118 / 118	96.8%	3.2%
○	04 学校は、幼児児童生徒の病状や障がいに配慮し、安全・安心な教育環境を整えている。	○ 98.3%	116 / 118	93.5%	4.8%
	05 学校は、地域の教育資源（施設・機関）を活用した教育活動を行っている。	91.4%	106 / 116	89.9%	1.5%
○	06 学校は、危機管理体制を適切に設定し、運用している。	○ 96.6%	114 / 118	97.6%	-1.0%
○	07 学校は、いじめ、体罰、差別等を排除する学校づくりに努めている。	○ 97.4%	113 / 116	98.4%	-1.0%

【保護者】 A:よくできている,B:おおむねできている,C:あまりできていない,D:できていない,E:わからない(評価できない)		今年度(A+B)	今年度回答数 (A+B)/(A+B+C+D)	前年度(A+B)	比較
○	01 学校は、教育方針を分かりやすく伝え、達成できるように努力していますか。	○ 97.7%	126 / 129	98.5%	-0.8%
◎	02 学校の校舎や敷地は、清潔に保たれていますか。	◎ 100.0%	126 / 126	96.4%	3.6%
○	03 学校は、幼児児童生徒の病状や障がいに配慮し、安全な教育環境を整えていますか。	○ 96.1%	122 / 127	94.9%	1.2%
○ ○	04 学校は、地域の教育資源（施設・機関）を活用した教育活動を行っていますか。	○ 97.5%	116 / 119	89.1%	○ 8.4%
◎	05 学校は、地震や風水害等の非常時に備え、連絡方法や訓練などの対応を適切に進めていると思いますか。	◎ 100.0%	126 / 126	96.4%	3.6%
○ ○	06 学校は、いじめ、体罰、差別等を排除する学校づくりに努めていると思いますか。	○ 96.6%	114 / 118	89.1%	○ 7.5%

【児童・生徒】 A:はい,B:いいえ,C:わからない		今年度(A)	今年度回答数 (A)/(A+B)	前年度(A)	比較
◎	《小01》あなたは、学校が楽しいですか。	◎ 100.0%	35 / 35	97.6%	2.4%
▽	《中01》あなたは、学校が楽しいですか。	90.3%	28 / 31	97.4%	▽ -7.1%
	《高01》あなたは、学校が楽しいですか。	94.2%	49 / 52	97.8%	-3.6%
◎	《小03》先生は、あなたの話をきいてくれますか。	◎ 100.0%	32 / 32	100.0%	0.0%
	《中03》先生は、あなたが困ったときや悩みがあるときに、相談ののってくれますか。	94.4%	34 / 36	97.1%	-2.7%
◎ ○	《高03》先生は、あなたが困ったときや悩みがあるときに、相談ののってくれますか。	◎ 100.0%	51 / 51	93.2%	○ 6.8%
○ ○	《中05》学校は、安全で過ごしやすいですか。	○ 97.1%	34 / 35	91.9%	○ 5.2%
○	《高05》学校は、安全で過ごしやすい環境が整えられていますか。	○ 96.6%	43 / 44	97.7%	-1.1%

★分析

・教職員は「意思疎通を図りながら、働きやすい職場環境の整備に努めている」と感じる割合が、昨年度より10.2%上昇している。今後も、質的、量的な両方の側面から働き方改革を推進することが求められる。

・昨年課題であった「障害に配慮した安全な教育環境」「いじめ・体罰・差別の排除」に関する保護者の肯定的評価の割合は、それぞれ8.4%、7.5%上昇した。引き続き、児童生徒の安心安全に配慮した教育活動が求められる。

・昨年同様、児童生徒は、先生が話をきいてくれたり、困ったときや悩みがあるときに相談ののってくれると感じている割合が高い。一方で、学校が楽しくないと感じている生徒が若干増えている。引き続き、児童生徒に関する情報の共有と個別の対応とが必要である。

3 項目別分析②

(2) 「教育活動」について

【教職員】 A:よくできている,B:おおむねできている,C:あまりできていない,D:できていない,E:わからない(評価できない)		今年度(A+B)	今年度回答数 (A+B)/(A+B+C+D)	前年度(A+B)	比較
○	08 学校は、幼児児童生徒の実態や保護者のニーズを反映させた個別の指導計画を作成し、活用している。	○ 98.3%	114 / 116	97.5%	0.8%
◎	09 学校は、幼児児童生徒の実態に合わせて、健康管理や体力向上の指導を適切に行っている。	◎ 100.0%	117 / 117	98.4%	1.6%
◎	10 教職員は、幼児児童生徒が気軽に相談したり話しかけたりできるように努めている。	◎ 100.0%	116 / 116	96.0%	4.0%
○	11 学校は、地域や交流籍校との交流や共同学習を積極的に推進している。	○ 97.4%	112 / 115	94.3%	3.1%
	12 学校は、キャリア教育の視点を取り入れ幼児児童生徒の将来を見通した教育を行っている。	94.8%	110 / 116	92.6%	2.2%
○ ○	13 学校は、防災教育を中心とした復興教育を行っている。	○ 95.0%	111 / 117	89.3%	○ 5.7%
○	14 学校は、個々の生徒の実態やニーズに応じた進路指導を適切に行っている。	○ 98.2%	111 / 113	96.7%	1.5%

【保護者】 A:よくできている,B:おおむねできている,C:あまりできていない,D:できていない,E:わからない(評価できない)		今年度(A+B)	今年度回答数 (A+B)/(A+B+C+D)	前年度(A+B)	比較
○	07 お子さんは、学校で楽しく学習活動に参加していますか。	○ 95.3%	122 / 128	93.4%	1.9%
○	08 学校は、個別の指導計画や教育支援計画に、保護者の願いを反映させていますか。	○ 99.2%	126 / 127	95.6%	3.6%
○ ○	09 学校の授業は、お子さんに合った適切な学習内容になっていますか。	○ 97.5%	118 / 121	90.5%	○ 7.0%
○	10 学校は、健康管理や体力向上について、お子さんの実態に合わせて適切に行っていますか。	○ 98.4%	126 / 128	94.9%	3.5%
○	11 学校は、幼児児童生徒一人一人が活躍できるように学校行事を工夫して行っていますか。	○ 97.6%	123 / 126	94.2%	3.4%
○	12 学校は、地域や交流籍校等との交流学習や共同学習を十分に行っていますか。	94.0%	107 / 114	86.9%	○ 7.1%

【児童・生徒】 A:はい,B:いいえ,C:わからない		今年度(A)	今年度回答数 (A)/(A+B)	前年度(A)	比較
◎	《小02》先生は、わかりやすく勉強を教えてくださいますか。	◎ 100.0%	31 / 31	100.0%	0.0%
	《中02》先生は、わかりやすく勉強を教えてくださいますか。	93.8%	37 / 39	94.9%	-1.1%
◎	《高02》先生は、わかりやすく勉強を教えてくださいますか。	◎ 100.0%	51 / 51	100.0%	0.0%
○	《小04》先生は、あなたががんばったことをほめてくれますか。	○ 96.9%	31 / 32	100.0%	-3.1%
○	《中04》先生は、あなたが努力したことを認めてくれますか。	○ 96.9%	31 / 32	97.3%	-0.4%
○	《高04》先生は、あなたが努力したことを認めてくれますか。	○ 100.0%	53 / 53	95.4%	4.6%
	《中06》先生は、あなたが病気やけがをしないようにするためには、どうすればよいか教えてくださいますか。	93.8%	30 / 32	97.4%	-3.6%
○	《高06》先生は、あなたが病気やけがをしないようにするためには、どうすればよいか教えてくださいますか。	○ 95.8%	46 / 48	97.5%	-1.7%
○ ○	《中08》避難訓練や防災学習では、自分の身の守り方や助け合うことの大切さがわかりましたか。	○ 97.1%	33 / 37	89.2%	○ 7.9%
	《中09》先生は、進路について、わかりやすく教えてくださいますか。	96.9%	31 / 32	93.3%	3.6%
◎	《高09》先生は、進路について十分な情報を提供してくれますか。	◎ 100.0%	43 / 43	97.3%	2.7%
◎	《高10》先生は、あなたの進路実現に向けて相談にのってくれますか。	◎ 100.0%	44 / 44	93.3%	6.7%

★分析

- ・児童や生徒における教育活動の評価は高評価であり、教員と児童生徒の関係性が良好であることがうかがえる。
- ・保護者においては、自身の願いが教育活動に反映されていると感じている割合が上昇している。特に、「授業の適切な学習内容」と「交流学習や共同学習」については、それぞれ肯定的評価が7%程度上昇した。今後も、交流学習や共同学習については保護者のニーズを反映させつつ、時期や内容等の見直しも視野に入れるしていくことが必要である。
- ・生徒における防災学習の大切さを問う項目で昨年度より肯定的評価が7.9%上昇している。今後も防災・復興学習のより体系的で継続的な取り組みが求められる。
- ・生徒における進路達成に向けた教員の指導や相談体制については高評価である。今後も、保護者との連携を密にし、個々に応じた進路指導が求められる。

3 項目別分析③

(3) 「学校・保護者・地域の連携」「教職員研修」について

【教職員】 A:よくできている,B:おおむねできている,C:あまりできていない,D:できていない,E:わからない(評価できない)		今年度(A+B)	今年度回答数 (A+B)/(A+B+C+D)	前年度(A+B)	比較
○	15 教職員は、幼児児童生徒の指導に関して、保護者や家庭のニーズの把握に努めている。	○ 99.1%	116 / 117	98.4%	0.7%
◎	16 教職員は保護者に対して、幼児児童生徒の様子を分かりやすく伝えている。	◎ 100.0%	118 / 118	100.0%	0.0%
◎	17 教職員は、保護者が気軽に相談できる環境づくりに努めている。	◎ 100.0%	117 / 117	98.4%	1.6%
○	18 学校は、PTA活動に対して、適切な支援を行っている。	○ 99.1%	115 / 116	100.0%	-0.9%
○	19 学校は、地域の特別支援教育のセンターとしての役割を十分に果たしている。	○ 96.4%	108 / 112	99.1%	-2.7%
○	20 学校は、関係機関の協力や支援を適切に得られるように努めている。	○ 98.3%	115 / 117	98.3%	0.0%
○	21 学校は、広報やホームページ等を活用し、広く学校の情報を発信している。	○ 96.6%	112 / 116	91.7%	4.9%

【保護者】 A:よくできている,B:おおむねできている,C:あまりできていない,D:できていない,E:わからない(評価できない)		今年度(A+B)	今年度回答数 (A+B)/(A+B+C+D)	前年度(A+B)	比較
○	13 学校は、保護者宛の文書や校報等で、学校の取組や幼児児童生徒の様子について、わかりやすく情報提供をしていますか。	○ 98.4%	127 / 129	97.8%	0.6%
○	14 学校は、進路について、十分な情報提供をしていますか。	96.0%	119 / 124	86.1%	○ 9.9%
◎	15 学校は、地域の福祉サービス等について、十分な情報提供をしていますか。	95.0%	112 / 118	82.5%	◎ 12.5%
◎	16 学校は、広報やホームページ等を活用し、広く学校の情報を発信していると思いますか。	96.6%	113 / 117	80.3%	◎ 16.3%
○	17 学校は、PTA活動に適切な支援を行っていますか。	99.2%	118 / 119	90.5%	○ 8.7%

【関係機関】 A:よくできている,B:おおむねできている,C:あまりできていない,D:できていない,E:わからない(評価できない)		今年度(A+B)	今年度回答数 (A+B)/(A+B+C+D)	前年度(A+B)	比較
○	01 学校は、関係機関との連携を密に行っていると思いますか。	○ 96.3%	26 / 27	93.8%	2.5%
○	02 学校は、地域の特別支援教育センターとしての役割を果たしていると思いますか。	○ 96.0%	24 / 25	92.9%	3.1%
○	03 学校は、広報やホームページ等を活用し、広く学校の情報を発信していると思いますか。	○ 100.0%	24 / 24	100.0%	0.0%

【児童・生徒】 A:はい,B:いいえ,C:わからない		今年度(A)	今年度回答数 (A)/(A+B)	前年度(A)	比較
○	《小05》交流学習では、友だちと楽しく交流できましたか。	○ 96.4%	27 / 28	100.0%	-3.6%
▽	《中07》交流学習では相手校の生徒と十分に交流できましたか。	85.7%	24 / 28	91.2%	▽ -5.5%
	《高10》今後も他校や違う校舎の生徒と交流をしてみたいと思いますか。	87.0%	40 / 46	85.7%	1.3%

【教職員研修】 A:よくできている,B:おおむねできている,C:あまりできていない,D:できていない,E:わからない(評価できない)		今年度(A+B)	今年度回答数 (A+B)/(A+B+C+D)	前年度(A+B)	比較
○	22 校内での研修・研究が十分に行われ、教職員の専門性や指導力の向上に役立っている。	○ 95.7%	112 / 117	91.0%	4.7%
○	23 授業研究が十分に行われ、幼児児童生徒の将来の社会自立に向け、生きる力を高める授業実践が行われている。	94.1%	111 / 118	85.2%	○ 8.9%
○	24 学校は、校外で開催される研修会等に教職員が参加しやすい環境づくりに配慮している。	90.4%	104 / 115	81.7%	○ 8.7%

★分析

- ・本校は地域のセンター的な役割を担っており、その役割を十分に果たしていることが、広報やホームページによる情報発信等により、保護者や外部にも伝わってきていると考えられる。
- ・関係機関における学校との連携については昨年度よりも高評価であり、情報発信についても昨年同様高評価だが、情報の発信については「わからない」との回答もあったことから、改善の余地がある。今後も広く情報発信を行っていく必要がある。
- ・教職員研修については、昨年度より研修に参加しやすい環境が整いつつあり、研修の成果として指導力の向上につながっていると感じる教員の割合が増えている。授業研究についても推進している状況がうかがえる。今後も研修会へ参加しやすい環境整備と研修成果の共有をすることで、より充実した授業実践に向けて取り組みが望まれる。

令和5年度 学校評価アンケート調査 集計分析結果

岩手県立一関清明支援学校

1 実施内容

(1) 調査期間 令和5年11月24日(金)～12月8日(金)

(2) 調査対象とアンケート回収率

- ①教職員 100%(119/119人)※医療的ケア看護師等除く
- ②保護者 90%(131/147人)
- ③児童生徒 95%(143/150人)※幼稚部を除く回答可能な児童生徒
- ④関係機関 77%(27/35機関)※学校評議員・福祉サービス事業所・継続型支援対象校

(3) 集計方法

①【教職員・保護者・関係機関】

●回答は、A:よくできている、B:おおむねできている、C:あまりできていない、D:できていない、E:わからない(評価できない)からの選択で行った。

評価全体(ABCD)における肯定的評価(AB)の割合を示し、昨年度との比較を行った。

②【児童・生徒】●回答は、A:はい、B:いいえ、C:わからないからの選択で行った。

評価全体(AB)における肯定的評価(A)の割合を示し、昨年度との比較を行った。

③肯定的評価の割合・・・◎100%、○95%以上100%未満、▽70%以上80%未満、▼70%未満で示している。

④昨年度との比較・・・◎10%以上の増加、○5%以上10%未満の増加、▽5%以上10%未満の減少、▼10%以上減少で示している。

2 全体分析

●教職員・保護者・児童生徒・関係機関とも、昨年度と同様に高評価であった。肯定的評価の平均値は以下のとおりである。

	教職員	保護者	小学部児童	中学部生徒	高等部生徒	関係機関
項目数	24項目	17項目	5項目	9項目	9項目	3項目
平均値	97.2%	97.3%	98.7%	94.0%	97.1%	97.4%
昨年度	94.5%	91.5%	99.5%	94.4%	95.7%	96.6%
比較	2.7%	5.8%	-0.8%	-0.4%	1.4%	0.8%

●昨年度と比較すると、肯定的評価の平均値はおよそ9.7%上昇した。

●保護者においては、昨年度の課題とされた「学校・保護者・地域連携」の項目で肯定的評価の平均値の上昇がみられた。

●保護者においては、進路や福祉サービス等の情報提供に関する項目で肯定的評価が12.5%上昇している。特に学校の広報やホームページによる情報発信についての肯定的評価は16.3%上昇がみられた。今後も継続的な学校からの情報発信による保護者との連携の強化が望まれる。

●「復興教育の実施」については、教職員、生徒ともに防災学習の理解に対する評価が昨年よりも上昇している。

●児童・生徒の回答については、学校での生活や教育活動については高評価となっており、良好な信頼関係のもと教育活動が展開されていることがうかがえる。

●関係機関の回答については、昨年同様、学校との連携について高評価を受けている。